



新見市男女共同参画情報紙

りぼん

vol.32
2021.8



しょくばでも
いなくてもある
さいがいは
うちではなそう
ほくもわたしも

自然災害が多発している近年、「防災士」の役割が注目されています。

令和3年3月に策定された「第4次にいみ男女共同参画プラン」においても、女性の防災士を増やしていくことが目標として掲げられていますが、防災士についてご存じない人も多いのではないのでしょうか？

そこで今回の「りぼん」では防災士にスポットを当て、新見市防災士会や防災士の方に活動状況などを伺いました。



図上訓練を行う防災士のみなさん



八木紀昭さん

防災士の資格を取得された方々にお話を伺いました。

防災士とは「自助・共助・協働」を原則として、公助との連携充実につとめ、社会の様々な場で減災と防災力の向上を目指し活動するために、十分な意識・知識・技能を有すると認められた人として、特定非営利活動法人日本防災士機構が、平成15年から認定する民間資格です。

令和3年3月末現在、全国で20万人を超える方が取得しています。

普段はどのようなお仕事をされていますか。

新郷郵便局長をしています。

防災士資格取得のきっかけを教えてください。

郵便局長になったのがきっかけです。地域防災の一助になればと思い、令和2年度に取得しました。

どのような試験を受けられましたか。

まず、日本防災士機構から配布されたテキストを使い、自宅で勉強しました。その後、防災士研修講座を受講し、資格取得試験を受けました。試験は選択問題でした。試験に合格した後、最後に救急救命講習を受講しました。

防災士には体力が必要ですか。

体力は、必須条件ではないと思います。防災士として必要なことは、まず防災意識を高め、知

識を広めることにあると思います。

防災士の資格を取得したことによって、心境の変化はありましたか。

資格取得前は、災害時には助けられる側という考えがありました。資格を取得後は、助ける側になったという考えに変わりました。



今後、防災士としてどのように取り組んでいきたいですか。

まだ、資格を取得して間もないので、経験は少ないですが、地域には様々な能力を持った方々がおります。その方々と協力しながら防災活動を進めたいと思っています。

ます。また、地域の方々とのコミュニケーションも大事だと考えています。

どのような方に、防災士になってほしいですか。

可能な限り多くの人に資格を得てほしいと思っています。特に、自主防災組織で活躍されている方々にはぜひ取得してほしいと思っています。また、防災士には女性の方の存在もとても大切だと考えています。

防災分野に関わらず、男女共同参画について、どのような意識をもっておられますか。

男女関係なく、一人ひとりがやるべきことをやればいいと思います。そうすることで職場、地域、家庭それぞれが充実すると思います。私の職場でも男の仕事、女の仕事など慣例で行うのではなく、気づいた人、できる人がやる、というふうな雰囲気づくりに努めています。



山田理絵さん

普段はどのようなお仕事を
されていますか。

大佐田治部在住の看護師です。
市内グループホームで働いていま
す。

防災士の資格を取ろうと
思ったきっかけは何ですか。

看護師になったころから防災に
は関心がありました。これまで医
療支援チームとして東日本大震災
などの現場を訪れ支援していくつ
ちに、防災意識をもっと高めなけ
ればならないと感じるようになり

ました。そんなとき、市報で防災
士の資格取得助成の記事を見て、
資格取得を決意しました。

家庭で意識している防災の
視点はどのようなものがあり
ますか。

まずは防災グッズを準備するこ
とです。災害時の持ち出し品の中
でも大事なのは、普段服用してい
る薬やその情報です。現在どんな
病気を抱えていて、どんな薬を服
用しているかは命にかかわる本当
に大事な情報です。その情報の有
無が災害関連死を減らすことにも
つながります。



また、家族と共通認識をもつこ
とも大切です。自宅の立地を把握
し、状況に応じた避難ルートを取
り決めたりすることです。職場や
学校にいるときに災害が起これば
避難先も変わってきます。ほかに
も家族構成などを書いたカードを
作成しておくのもおすすめです。

家族の理解はどうですか。

普段から私の活動を理解してく
れていますし、資格を取得したこ
とによって、家族も頼りにしてく
れています。夫は「自分も防災士
の試験を受けてみようかな」と
言っています。

(男性・女性) ならではの
視点は、防災活動や災害の現
場どのように活かされると
思いますか。

私が経験して感じたことでは
が、衛生面など細かいところに気
付くのは女性ならではの視点だ
と思います。古着を裂いておしめを
作ったりするというようなことは
男性ではなかなか思いつかなか

たりします。精神的に弱っている
人に寄り添い気遣いできるのもそ
うですね。災害時、男性の存在と
して力強く感じるのは、やはり体
力面ででしょうか。救援物資の運搬
など、大変助かりました。

防災分野に関わらず、男女
共同参画について、どのよう
な意識をもっておられます
か。

個人が持っている強みを生かし
て、お互いに力を出し合っていく
ことが大切だと思います。男女だ
けではなく、年齢によっても考え
は違います。それぞれが意見を出
し合って、良い方向にまちづくり
なども進めていけたら良いと思
います。私が住んでいる地区の地
域運営組織「田治部みらい会」で
も、今後のことについて老若男女
でいっぱい話し合いました。こう
いう機会がもっともっと必要で
す。現実的でなくても意見を出し
あって話し合いすることに未来が
あると思います。

新見市防災士会 信谷会長にお話を伺 いました。



新見市防災士会はどのよう
な活動をしていますか。

新見市防災士会は平成28年に市
内在住・在勤の有志で結成しまし
た。現在行っている主な活動は、
大規模化・多様化する自然災害な
どに対する研修会や講習会、視察
研修などです。そこで得た防災・
減災に関する知識と技能を、所属
する自主防災会などに伝えていた
だき、地域の防災力アップにつな
がっています。また、各防災訓練に
対しての協力、新見公立大学の学
生防災士の資格取得事業への協力

などを行っています。今後も「自
助」「共助」「協働」を基本理念と
して、まずは自分の命は自分で守
る術を身につけて、地域の皆さん
と協力して被害拡大を防ぎ、自治
体や消防機関などと協力して活動
していきます。

新見市役所総務課危機 管理室 難波室長にお 話を伺いました。



防災士に期待する役割は

市役所及び自主防災組織と連携
して地域の防災活動及び啓発に協
力していただいています。引き続
き、防災士としての知識・技能を
生かして、地域社会の様々な場で、

減災及び地域防災力の向上のた
め、地域防災のリーダーとして活
躍いただきたいと考えています。
また、新見市地域防災計画では、
「防災の現場における女性の参画
を拡大し、男女共同参画の視点を
取り入れた防災対策を講じていく
こと」としており、そのような観
点から、女性防災士が増加してく
れることも期待しています。

防災士資格取得助成制度

資格取得後に地域や職場において防災のリー
ダーとなり、防災意識の啓発などに取り組んで
いただける市民の方を対象に、防災士の資格取
得に必要な経費（講座受講料、資格取得試験受
験料、防災士登録料）を助成しています。

補助率10/10（上限 61,900円）

問い合わせ先 新見市役所総務課危機管理室 ☎@6205

編集後記

編集委員 磯田由佳

平成30年西日本豪雨、テレ
ビで特別警報の赤色を見なが
ら「近所のおじいさん、おば
あさんは大丈夫かな」と不安
だったのをよく覚えていま
す。あの時、私はどうしたら
よかったのかな…。

『防災士』の名前だけを見
るとなんだか難しそうな印象
を受けます。しかし今回の取
材でお話を聞いた方々は、み
んな身近な人たちで、決して
私たちから遠い存在ではあり
ませんでした。それぞれ違う
特技があり、違う視点を持つ
た人たちが、得意分野を生か
し自分たちの地域で防災の働
きかけをする。これって、も
しかして私にもできるかも？
テキストも配布されるの
か、ふむふむ。

「気になる」そう感じた瞬
間が防災士への第一歩です
ね。